

高まりつつあるアピアランスサポートの需要

国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センターが、2013年に発表した資料(※2)によれば、治療に伴う身体症状の苦痛 TOP20 の中に、外見の変化による苦痛がいくつか挙げられています。特に、乳がん・婦人科がんの患者の方においては、12項目、60%が外見に関する苦痛です。医療技術の進歩によって、がんの生存率が改善し、「がんと共に生きる、働く」という時代になったことで、抗がん剤治療などによる脱毛や肌のくすみなど外見(アピアランス)変化に悩みを持つ患者が増加し、ウィッグでの脱毛のカバーや、日常的な化粧品を使ったメイクアップの提供など、がん患者のQOL向上の実現に役立つアピアランス・サポートの需要は高まりつつあります。メーカーの勧めではなく、患者視点でのウィッグの選定などの相談を受けるサービスが広がりつつあります。

(※2) 抜粋参考資料 国立がん研究センター中央病院

第2回講習会講義内容

10月6日(火) 13:00~17:00	・アピアランス・サポートの基礎知識 ・ウィッグに関する基礎知識 ・カウンセリングの基礎 講習会場：アピアランスサポート相談室(https://app-sup.com)
10月20日(火) 13:00~17:00	・ウィッグに関する実技(カット、毛流調整、サイズ調整など) ・ネイル ・カバーメイク 講習会場：港区立がん在宅緩和ケア支援センター(https://www.minato-hpccsc.jp)
10月27日(火) 13:00~17:00	・がんに関する一般知識と医療者との連携について ・がん治療の流れと患者さんの心 ・がん治療における副作用 ・がん相談支援センターの役割と患者支援について ・医療現場見学 講習会場：東京慈恵会医科大学および医科大学付属病院(https://www.hosp.jikei.ac.jp)
講 師	一般社団法人アピアランス・サポート東京 アピアランス・サポート相談室室長、美容師 村橋紀有子 一般社団法人アピアランス・サポート東京、正看護師、ネイリスト 森本恵 東京慈恵会医科大学付属病院 緩和ケア認定看護師 藤本麗子 東京慈恵会医科大学付属病院 がん相談支援センター 看護師 紙屋友紀 美容ジャーナリスト NPO 法人 CNJ 認定 乳がん体験者コーディネーター 山崎多賀子 ほか
受講料	無料
受講対象者	美容師の資格を有する方を対象に、アピアランス・サポートやがんに関する知識についての講座とウィッグやネイル、カバーメイクに関する知識の習得
定 員	10名/回
受講対象者	復職を希望する美容師資格保持者およびBA東京美容コンソーシアムが選定する団体別採用カスパイラルアップ事業の支援先サロンの従業員 (支援先サロンの従業員で定員に達しなかった場合には、一般の美容師の方の参加も可能です)

アピアランス・サポート技能講習会申込書

セミナー応募フォーム

下記にご記入戴き、FAXにてお申し込みください(お電話でのお申込みも可能です)。



FAX 送付先：03-3379-0160

氏 名				店 名			
店 舗 所 在 地	〒						
TEL・FAX				E-mail			
組 合	・組合員		・組合未加入		・組合加入希望		
支援先サロン	・支援先選定サロン		・一般サロン		・フリーランス		

まずはお電話(03-3370-2131)で空き状況をご確認の上、申込書をFAXでお送りください。申込書送信後、3日以内(土日祝除く)に申込書受信の連絡をいたしますので、このご連絡がない場合は再度お電話ください。